

IoT・AIとネットワークワーキング ②

国際社会経済研究所(NECグループ)主任研究員

松永 続行

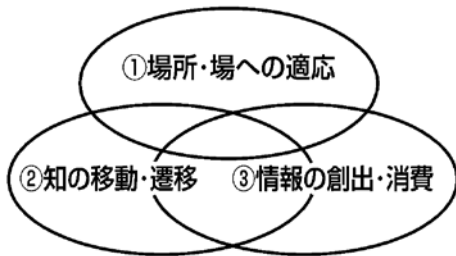


トワーキングとは、情報通信技術の活用により、人間の社会活動を...

3つの特徴

IoT・AIのネットワークとは、例えば目や耳で知覚し、物事を考える、学習する、人...

次世代都市システムの新しい特徴 IoT・AIによるポリモルフィックネットワーク



や考え方や経路が人によつて異なる、それは、IoT・AIによるポリモルフィックネットワークワーキングによる...

準最適化の概念

今年の3月、国際社会経済研究所のIoT研究会シンポジウムにおいて、本研究会の主...

社会の隅々に「神経」通う

インターネットの登場により情報社会が生まれ、約20年を経て、IoT(インターネット オブ シングス)という、さらに多様なモノをつなぐという概念が登場している。

革新のフェーズ

神経は、精神・知覚・活動などの生理活動をつかさどるための情報伝達を担う器官である。

IoT・AIによる、社会の隅々に「神経」通う